

滝澤ベニヤ株式会社

北海道芦別市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

デザイン性の高いペーパーウッドで、著名美術館のショップなど海外への販路を拡大

- 高い技術力と優れたデザイン性により、海外の有名美術館とも取引を開始し、販路をさらに拡大
- 地域の広葉樹資源を活用することで、林業活性化のみならず、地元の森林環境保全にも貢献
- オンリーワン製品の開発で技術力の高さを世界にアピールし海外展開

企業基本情報

| | |
|----------|---|
| 所在地 | 北海道芦別市野花南町 1000 番地 |
| 電話 / FAX | 0124-27-3111 / 0124-27-3113 |
| U R L | http://www.takizawaveneer.co.jp/ |
| 代表者 | 代表取締役 滝澤 量久 |
| 設立 | 1936年 |
| 資本金 | 4,500万円 |
| 従業員数 | 63人 |



会社概要

1936年の創業以来北海道芦別市において単板・合板の製造業を営んでいる。地域の広葉樹資源を活用したオンリーワン製品として開発された同社のオリジナル合板である「ペーパーウッド」は、カラー再生紙と木材の積層で美しい木口による高いデザイン性と独創性を実現し、国内外の各種デザイン賞を受賞。ペーパーウッドを用いたクラフト製品は、国際展示会への積極的な出展を行い、著名美術館のショップで製品が販売されるなど、海外で高い評価を受けており、更なる販路拡大を目指している。

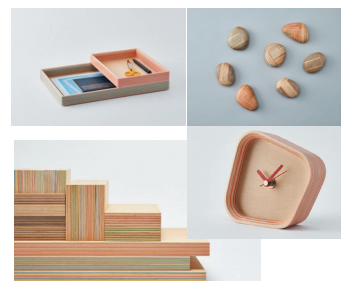


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 優れた技術力とデザイン性により、海外の有名美術館とも取引

同社のオリジナル合板である「ペーパーウッド」を用いたクラフト製品は、国内外の各種デザイン賞を受賞するなど高いデザイン性と独創性を有する。国際展示会への積極的な出展を行い、英国国立ビクトリア・アンド・アルバート博物館（V & A）やニューヨーク近代美術館で販売されるなど、海外で高い評価を受けている。単板とカラー再生紙を交互に貼り合わせる技術の特殊性、手間がかかる製造工程により海外では生産が困難であることにも優位性を有しており、更なる販路拡大を目指している。



オリジナル合板「ペーパーウッド」

▶▶▶ 地域の広葉樹資源を活用し地元の森林環境保全に貢献

同社のオリジナル合板である「ペーパーウッド」に用いられているのは、シナの木とシラカバの間伐材であり、北海道の恵まれた広葉樹資源を活用している。地元森林資源を活用することにより、林業活性化のみならず、森林のメンテナンスに繋がり、森林の保水力を維持するなど、地元の森林環境保全にも貢献している。また、クラフト製品の製造は、地元家具メーカー、クラフト工芸メーカーと連携するなど、地域の木材加工産業全体の活性化、高付加価値化に寄与している。



地域広葉樹資源活用へのこだわり

▶▶▶ オンリーワン製品の開発で技術力の高さを世界にアピール

日本の合板は、海外との価格競争等により販売数が激減しているが、品質や精度の面では世界をリードしている。創業 80 年超の同社は、日本の技術力の高さを世界にアピールしたいという思いから、品質を維持しつつデザイン性も兼ね備えた、自分達にしかできないオンリーワン製品として「ペーパーウッド」を開発。海外展開にあたっては、著名美術館のミュージアムショップを当面のメインターゲットとし、製品の認知度や信用力を高めることで、今後幅広い販路開拓を図る戦略をとっている。



海外展示会への積極的な出展